

月信

2025
1月号
vol.7



GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

2024～2025年度 国際ロータリーテーマ
**ロータリーは、あなたと私が
出会うところ。
そして、次の世代に何をわたせるか
共に考え行動しましょう！**
2024～2025年度 第2600地区標語



CONTENTS

ガバナーのあいさつ 白鳥敬日瑚	1
地区大会報告と謝辞	2
活動報告	3～4
夢の実現プロジェクト	5～6
公式訪問写真	7
ガバナーノミニー・デジグネート決定宣言	8
クラブのご紹介	8
ロータリー財団・栄山記念奨学金への寄付	8
訃報/新入会員のご紹介	8

須坂RC 湯本浩司様より

R I 会長 / ステファニー・A・アーチック

R I 理事 / 水野 功 (東京飛火野RC)

ガバナー / 白鳥敬日瑚 (佐久コスモスRC)



ガバナーからのメッセージ

国際ロータリー第2600地区
2024～2025年度

ガバナー 白鳥敬日瑚

皆さん、新年明けましておめでとうございます！昨年ガバナー公式訪問、軽井沢での地区大会、IM、周年事業、そして夢の実現プロジェクトの実施等で大変お世話になりました。お蔭様でロータリーの素晴らしさについて身をもって体験させていただきました。今後の地区運営に活かさせていただきます。ご準備いただきました皆様とご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

私達のロータリーは、**親睦**から開始し、**奉仕**活動が盛んとなり、その後先人が様々な危機を乗り越え現在があります。60周年を超えたクラブもあり、長く会員を続けた先輩方々はなんと筆舌しがたい**品格**を備えておられます。まさに日々の研鑽がなせる業だと感じました。



写真の富士山は、第2680地区（大阪北）の地区大会に参加した折、新幹線の車中から撮影した富士山です。大変凛々しく日本を象徴する**品格**が際立ったお姿でした。富士山もあのようなお姿になるまでは、数度の大噴火があったと聞きました。やはり大きな変化が創り上げた至宝ということでしょう。

今、時は大変な過渡期に突入しておりますが全員の協力でも乗り越え、世の中を平和で豊かにして参りましょう。そのためにも皆様とともに仲間を5%以上増やして参りましょう！会員の皆様、ご家族、関係者の皆様のご健勝とご多幸を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

「The Magic of Rotary!」

Rotary
第2600地区



地区大会

11/9・10 軽井沢プリンスホテルにて

地区大会報告と謝辞

地区大会実行委員長
佐久ロータリークラブ 越石 雅雪

国際ロータリー第2600地区の地区大会が11月9日～10日にかけて軽井沢プリンスホテルにおいて開催されました。秋の軽井沢は晴天にも恵まれ、県内外各地より約900名のご参加を頂きました。

本年度の地区大会は白鳥ガバナーの提唱された『結』をテーマに加え地区標語の通り「あなたと私が出会うところ」の通りたくさんの方の皆様と多くの交流を深めた大会になりました。人と人の結びつきはもちろん、すべてのロータリアンが結びあう素晴らしい大会になったと思います。

初日の9日は会長幹事会に続き、第2650地区のPDG、米山記念奨学会評議員の刀根荘兵衛氏による「今ロータリーを考える」と題して最近のロータリーの変化とこれからのロータリーについてご講演をいただきました。続いて元Jリーグ第5代目チェアマンの村井満氏による「天日干し経営」のご講演をいただきました。講演終了後、講師のお二方の歓迎晩餐会が開催され、開演前にカルテットルマーージュの皆様による弦楽四重奏があり美しい音色に晩餐会のスタートを盛り上げて頂きました。

2日目の10日は県内外各地から早朝にもかかわらず軽井沢の地までお越しいただきました。ご来賓の皆様からは佐久市長柳田清二様に（ビデオメッセージ）ご挨拶を頂き、御代田町町長の小園拓志様、佐久商工会議所会頭の中川正人様にもご参列いただきました。公務のため来場が少し遅れましたが午前11時ごろには阿部守一長野県知事にもご来場いただき、ご挨拶を頂戴いたしました。青少年アワーにおいてはIA、RA、米山記念奨学生、交換留学生の方々に登壇していただき、若い人たちにパワーをいっぱい頂きました。昼食のカレーライスもお陰様で大好評でした。午後からはアトラクションとして御代田町の龍神太鼓に加え龍神の舞が力強く練り歩き、会場を盛り上げてくれました。アトラクションの終了後は今回の目玉の一つでもあります、法政大学の元総長田中優子氏による「江戸から見るボランティア事情」の記念講演があり会場一同が熱心に耳を傾けておりました。各種表彰を行った後次期ホストクラブに無事大会旗を引き継ぐことができました。

結びに本地区大会の開催に当たり、ホストクラブである佐久RCの会員の皆様、ガバナークラブ事務所のスタッフの皆様には、委員会の立ち上げから当日も含め、多大なる協力を頂き心より感謝を申し上げ、報告とお礼に代えさせていただきます。



活動報告

◆青少年交換受入学生東京研修 10/27～29

青少年交換小委員長 荻原 直己 (箕輪RC)

2024年10月27日(日)から29日(火)の3日間、青少年交換委員会は来日学生東京研修旅行を行いました。参加者は来日学生3名(ウッコ君、アデレードさん、クララさん)引率に昨年のROTEX 1名(林さん)と委員会メンバー5名で研修を行いました。

初日は浅草で観光を楽しんだ後、昼食を挟み、東京タワーを訪れました。その後、横浜に移動し、山下公園や中華街を散策。夕食は横浜の中華街で委員会メンバーおすすめのお店の料理を頂きました。

2日目は早朝からディズニーランドで1日を過ごし、夕方には渋谷を訪れ、若者文化を感じる街での時間を過ごしました。普段は同じ地区に住んでいても、あまり一緒になることの少ない来日学生間です。今回の研修ではお互いの情報交換や交流が深まった1日でした。

最終日は鎌倉の大仏を訪問。江の島の水族館も見学し、自然と歴史を感じる素晴らしい時間を過ごしました。

今回の研修旅行は、日本の中心地域の文化や歴史にも触れ、来日学生はもちろんですが、学生をサポートする委員会メンバーの絆も深める貴重な機会となりました。

◆米山奨学生・学友懇親会 11/9・10

米山記念奨学委員長 岡村 肇 (長野北RC)

11月9日、10日の地区大会に合わせて「米山奨学生・学友懇親会」を開催しました。今回の参加人数は、奨学生18名に学友12名と過去最多となりました。



9日午後から熊野皇大神社、白糸の滝などを観光し、その後、宿泊先に移動して懇親会を開きました。

10日には、青少年アワーに続いて、ホームカミングでは学友であるリュウミンチュアン君がロータリーへの感謝の気持ちを述べました。

毎年地区大会は、奨学生にとって先輩である学友と触れ合う貴重な機会です。

お陰様で、今年も奨学生・学友の皆と、清水地区副幹事や岡部地区幹事をはじめロータリアンの皆様



への感謝を共有できました。

本当に有難うございました。

◆「KDDI共同創業者 千本倅生様特別講演会 (東京RC所属)」開催報告 11/15

DEI研究会委員長 二見 光子 (佐久RC)

11月15日(金)16時20分～17時50分 信州大学工学部電子情報システム学科3年生授業の一環にて、千本倅生様の特別講演を開催。授業が始まると、学生たちに向けて香山瑞恵学部長の気合いの一声で空気が引き締め、講義はスタート。千本氏ご自身の体験談を交えたご講義に、皆一瞬にして心を奪われました。千本氏は、東京ロータリークラブ所属の傍ら、自ら「財団法人こどもたちと共に歩む会」を設立され、様々な社会貢献にもご尽力されています。「海外へ行きなさい。世界を見て知って、一番好きな道を歩みなさい。全力で学び、社会に貢献できる人間になってください」「目の前にいる人に関心を持ちなさい。ありがとう!と素直に言える人間になってください」



「0から1を作ることがどれほど大変かを、自ら行動に移し常に感じてほしい」など、受講された約200名の学生、そして長野県、信州大学、諏訪東京理科大学、長野工業高等専門学校 各関係者、今回企画参加をしたDEI研究会メンバーに向けて熱いメッセージが届けられました。今回の企画は、白鳥敬日湖ガバナーが今年



度示されるDEIに基づき開講された特別講演でした。涙を流して聞き入っている方もいらっしゃる、千本様の思いやりのある真っ直ぐな言葉に励まされ、きっと何かのきっかけになったのでは・・・と感じました。講演会終了後、アンケートを実施し、その結果を纏めた資料を掲載いたしました。ぜひ、学生皆様の率直な意見をご確認いただければ幸いです。

〈アンケート結果〉
こちらから➡



活動報告

◆中信第一グループIM・会員セミナー 11/16 中信第一グループガバナー補佐 柴田 博康 (松本城RC)

11月16日(土)松本市ホテルブエナビスタにて白鳥ガバナーをお迎えし、中信第一グループIM・会員セミナーが開催されました。折井直前ガバナー、小林ガバナーエレクトをはじめ大勢のロータリアンの皆様にご参集いただきましたことにより感謝申し上げます。

第一部のIMセミナーでは、八十二銀行副頭取の樋代章平様による「長野県経済の見通し」という演題にて講演をいただきました。世界経済の動向からはじまり日本の経済状況、長野県経済の動向と見通しなど幅広い分野を丁寧に説明して頂きました。



第二部の会員セミナーでは、「これからのロータリークラブを共に考えてみましょう」というテーマで折井直前ガバナーに講演していただきました。国際ロータリーは今どのように変わりつつあるのでしょうか？そして私たちのロータリークラブはこれからどうしていくべきかなどについて、豊富なロータリアンとしての経験と識見に基づく講演で大変意義深いものでした。

第三部の親睦懇親会は、楽団ケ・セラの演奏からはじまり大変盛大に行われました。楽団ケ・セラは、松本市を拠点に、障がいを持つ若者たちが音楽活動を通じて社会的自立を目指し結成された楽団であり、DEIの考えを実現した団体です。

恐縮ですが、中信第一グループでの協働と連携による奉仕活動での合従連衡が積極的に実施されることが望ましいであろうと考えています。皆様と共にIM・会員セミナーにおいて、貴重な時間を共有できたことに喜びを感じております。最後に、IM・会員セミナーを迎えるにあたり、ご協力を頂きました関係各位そして松本城RCの藤田実行委員長と実行委員会の皆様には、厚く御礼申し上げます。



◆職業奉仕セミナー 11/24

職業奉仕委員長 品田 宗久 (南佐久RC)

今年の職業奉仕セミナーは11月24日(日)にホテルメトロポリタン長野に於いて、今回も「ロータリーから信州を元気に」をテーマに「次の世代に何をわたせるか」をサブテーマとして開催しました。

今年もデジタル化推進委員会の皆様のご協力により会場参加とオンライン参加で行うことが出来ました。

前回からの「子どもたちの心と体の健康」の続きで、今回は長野県武田教育委員長にご講演を頂き、その後白鳥ガバナー、酒井夢科RC職業奉仕委員長、竹内松本空港RC職業奉仕委員長でパネルディスカッションを行いました。武田教育委員長は「長野県教育の課題と今後について」と題して長野県がなぜ教育県と言われてきたのかその歴史と経緯から始まり、現在の課題として子どもたちの多様化(それ以上に親の多様化)子どもたちの学びや興味の変化に教員や親が対応できていない。長時間勤務による教師の疲弊、教員採用試験の倍率低下、教員不足、情報化の加速度的な進展への対応の遅れなど今後については学校をもっと地域に開いて、地域づくりの核として地域とつながり学校(先生たち)をもっと自由にしていかなければと分かりやすく熱く語って頂きました。

パネルディスカッションでは、子どもたちが地域のことをもっと良く知るために、また地域の中で子どもたちを育てていくためにはどうすれば良いかなどを議論しました。

そもそも子どもたちが地元でどんな産業があってどんな会社があり、どんな人が住んでいるのかを良く知らない。子どもたちは先端技術があるとか全国展開しているとかではなく、地元で生き活きと働いている人の姿や言葉に影響を受ける。今は親の働いている姿も見えない世の中で、まわりの大人たちが仲良く生き活きと働いている姿をさらけ出し、子どもたちに将来に対する明るいイメージ、夢を語ってほしい、など学校と地域の新しい関係づくりが必要だと感じました。



長野県が教育県と言われてきた先人たちの熱い想いを受け継いで子どもたちを元気にたくましく育てることが長野県の未来の元気に繋がると思います。

「ロータリーから信州を元気に」するために、それぞれのクラブで小さなことから行動を起こしましょう。

活動報告

◆中信第二グループIM・会員セミナー 11/30

会長 山田 弘 (木曽RC)

「何とか木曽の地で開催したい」

日野文平ガバナー補佐の願いから、林宏樹実行委員長のもと、木曽での開催が可能なかどうか協議し、IMテーマ「次世代につなぐ夢のプロジェクト」に沿う内容で企画でき、木曽らしさが出るならやるべきと判断、小林利恵子パスト会長が企画から運営の細部にいたるまで組み立て開催となりました。



第一部にパネルディスカッション、第二部には伊勢神宮に関わる方のご講演、第三部は懇親会と三部編成となりました。

第一部パネルディスカッションは、6クラブよりパネラーを選出し、青少年育成事業、またテーマを基本に活動のご報告、展望を語っていただき、クラブごとの内情、歴史に沿った想いにはそれぞれの特色が伺えました。

第二部は伊勢神宮の御遷宮に深く関わりのある奥野勇氏をお招きしてのご講演。テーマは「悠久の伝統に学ぶ再生発展の仕掛け（マジック）」。

木曽の地は2025年に伊勢神宮御神木祭が開催される予定で、長年にわたって繋いできたその崇高な念と、ロータリーのこれからの時代をそして未来を見据えていく視点を重ね合わせた想いで企画し、一般住民の方々にも大勢聴講いただきとても好評でした。



第三部懇親会は全て林実行委員長の企画で、京料理を楽しみ、二胡で癒され、若い修行僧達のおもてなしにと木曽ならではの趣向で楽しんで頂けたかと思えます。

ご参加いただきました皆さまには、一部から三部の中で、そして木曽の地に何か思い通じるところがありましたら幸いです。ご参加、そしてご協力いただきました全ての方々にも心より感謝申し上げます。



夢の実現プロジェクト

10/19 中信第二グループ

会長 山田 弘 (木曽RC)



「歩くだけなのに緊張するー」「こんな簡単に計測できるんだね」「こんなことで生涯健康になれるならいいねー」「みんなにも教えたいねー」とさまざまな声。

木曽ロータリークラブでは今年度白鳥ガバナーよりご提案いただいた「夢の実現プロジェクト 歩行ケア」に賛同して2024年10月19日（土）上松町立中学校においてスポーツのKISO学講座と題してこの歩行ケアを取り入れたイベントを開催いたしました。

もともと10年前から取り組んでいる少年サッカー教室、3年前より取り組んでいる木曽社会福祉事業協会運営子供センターに通う親子と一緒に楽しめる軽スポーツ教室に合体させて、集まった人達を巻き込んでの賑やかな開催となりました。

イベント全体をプロサッカーチーム松本山雅の選手、コーチ陣に毎回お世話になっています。各教室の空き時間にスムーズに計測でき、カウンセラー、バレエ教室の先生の指導のもと、そのデータを元に体を矯正するための簡単な運動をご指導いただきました。バランスの取れた姿勢を保つのは難しそうでしたが、笑いの絶えない楽しい雰囲気となりました。



子供達が身体能力を高め、また心身のバランス、精神の安定にとっても役立つ体験ができ、主催者側も、参加者もとても満足のものでした。

歩行ケアはまだまだ知られていないようなので、これを機に広めながら継続的に行い、未来を担う子供たちがいつまでものびのびと健康でいられることを願うところです。

何にしましてもいい機会を与えていただき関係者みなさんととても感謝しております。

夢の実現プロジェクト

10/20 東信第一グループ

会長 箕輪 義則 (蓼科RC)

蓼科ロータリークラブでは10月20日に、立科町体育センターを会場として本年度の地区補助金事業として「歩行ケアセミナー in立科」を開催しました。

第1部として、歩行計測と改善体操、第2部として、鷹野和美先生の講演という2部構成にて実施いたしました。ご後援を、立科町、立科町教育委員会、立科町社会福祉協議会、川西赤十字病院の皆様に頂くことができました。



立科町としては初めてとなる歩行計測を、一般社団法人 歩行ケア協会様のご協力を頂き、事前申し込みの方、当日申し込みの方等合わせ35名ほどの皆さんに計測を行いました。当初50名程度を予定していたところ、少し小人数となりましたがかえって、ゆっくりと説明を受けていただく事ができ、かえって良かったと思っています。合わせて改善体操も行って頂きました。



後半は、信州大学大学院医学博士・東京大学大学院客員研究員の鷹野和美先生より「寝たきりゼロの立科町を目指して」の演題にて講演を頂き、「自分でできる事は最後まで自分でやる、やらせる」「急ぎすぎない、頑張りすぎない」「三日坊主で当たり前、新しい三日坊主を始める」等々、非常に納得できるような話をして頂きました。参加者からは「勉強になった」「よかったよ。」等の言葉を頂き、有意義なセミナーが出来たと思っています。

最後に当クラブ会員はじめ多くの方のご協力のもとに開催することができました、あらためて感謝申し上げます報告といたします。



10/28 東信第二グループ

幹事 佐藤 恵太 (丸子RC)

武石小学校～児童の心と体の継続的な健康促進に向けて～

2024年10月28日(月)、武石小学校において、歩行ケア協会のご協力のもと、当クラブ主催で「武石小学校 夢の実現プロジェクト」による歩行ケアが実施されました。全校児童約135名に加え、教員・保護者（希望者）の皆様にも参加していただきました。

当日午前中は体育館で全児童（及び保護者等）に歩行計測を受けてもらい、午後は歩行ケア協会の指導員による歩行改善・転倒予防指導がされました。「ニンニン体操」など実践的かつコミカルな歩行改善体操の実演・



体験学習もあり、児童の皆さんも大変意欲的に参加していました。

武石小学校では、教師の皆様のご賛同のもと、本プロジェクト開催以降、歩行改善体操を毎日の日課に取り入れていただいているとのことです。児童の心と体の継続的な健康促進につながる大変有意義なプロジェクトとなりました。



ガバナー公式訪問

10/11 松本東RC



10/16 小諸RC



10/17 天竜川RC



10/18 諏訪RC



10/21 軽井沢RC



10/23 上田東・上田六文銭RC



10/24 伊那RC



10/25 戸倉上山田RC



10/28 コスモスRC



ガバナー訪問を
終えて

皆様
感謝です



ガバナーノミニー・デジグネート決定宣言 / クラブのご紹介 / ロータリー財団・米山記念奨学金への寄付 / 訃報 / 新入会員のご紹介



ガバナーノミニー・デジグネート決定宣言

2027-2028年度ガバナー

金井 敬司 (かない けいじ)

- ◆所属クラブ 長野北東ロータリークラブ
- ◆勤務先・役職 MetLife シニアエグゼクティブコンサルタント
- ◆職業分類 生命保険
- ◆生年月日 1960年(昭和35年)4月12日 現在64歳

【ロータリー歴】

- 2000年1月 長野北東ロータリークラブ 入会
- 2011年~2012年 長野北東ロータリークラブ 幹事
- 2024年~2025年 長野北東ロータリークラブ 会長
- ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー MPHF
- 米山記念奨学会 米山功労者

クラブのご紹介

中信第一グループ

白馬ロータリークラブ会長 中澤 小百合

我が白馬ロータリークラブは今年50周年を迎えました。多方面からの移住者の多い白馬村でありますので会員の7割もまた白馬への移住者であります。また今年度は白馬村・小谷村の両村長に入会をいただき現在会員数13名となりました。小さなクラブですが会員13名がパワフルで少人数クラブですが沢山の活動をしております故に今年度の会長標語は「小さな巨人!白馬クラブ」としました!

白馬クラブの活動として、清掃活動・募金活動の他、3年前には白馬高等学校にインターアクトクラブを設立し現在は19名の生徒と共に清掃活動・募金活動等の活動をしております。そして白馬クラブのメイン活動である「交換学生スキーの集い」は今年度37回を迎

え今年度よりリニューアルをした形で3月25・26・27日に開催を予定しております。ご興味のある方はぜひご参加・見学にお越しください!!また今年度は夢の実現プロジェクトとして「歩行ケア」を中信第一グループとして白馬の小中学校で開催をいたしました、プロジェクトを通じて地域の方々にロータリークラブを知っていただく機会ともなり認知度が上がった事を実感しております。そこでやはり「会員増強」にも繋げたいといったところであります、白馬クラブではオープン夜間例会として「異業種交流会」を開催し地域でご活躍の皆様と交流の会を開催しております。今後も白馬らしいクラブとしてまたいつか「大きな巨人」になる事を目指して活動して参ります。

ロータリー財団・米山記念奨学金への寄付



丸子RC 赤平 年三 MPHf 2回



丸子RC 井田 宗弘 MPHf 2回



丸子RC 内堀 敏高 MPHf 2回



丸子RC 大森 美和 MPHf 1回



丸子RC 岡野 茂春 MPHf 2回



丸子RC 河野 正美 MPHf 1回



丸子RC 工藤 洋三 MPHf 2回



丸子RC 栗木 悦郎 MPHf 2回



丸子RC 小池 功二 MPHf 2回



丸子RC 小宮山陽一 MPHf 4回



丸子RC 斎藤 育子 MPHf 1回



丸子RC 桜井 光子 MPHf 6回



丸子RC 笹井寿美枝 MPHf 2回



丸子RC 佐藤 恵太 MPHf 1回



丸子RC 田中 利幸 MPHf 4回



丸子RC 戸堀 一夫 MPHf 1回



丸子RC 長島 三夫 MPHf 2回



丸子RC 服部 正 MPHf 2回



丸子RC 三木 敬大 MPHf 2回



丸子RC 宮本 伸司 MPHf 2回



丸子RC 山田 裕 MPHf 5回



上田東RC 後藤 正直 MPHf 5回



上田東RC 母袋 卓郎 MPHf 2回



須坂RC 大磯 守昭 MPHf 1回



須坂RC 竹内 信子 MPHf 4回

訂正とお詫び

月信 12月号8ページの新入会員のご紹介に誤りがありました。大変申し訳ございませんでした。心よりお詫び申し上げます。

誤) 竹田和憲 税理士
正) 竹田和憲 税理士事務所

訃報



松本空港RC 柳澤 源内 享年91歳 2024年10月9日ご逝去

新入会員のご紹介



小諸RC 美斉津 和子 パレエ教室主催



伊那中央RC 矢野 直樹 税理士



箕輪RC 松澤 清和 アウトソーシング

表紙の写真を公募します

月信では「子供の笑顔」をテーマとし、毎月表紙写真を公募しています。地区事務所へお送りください。肖像権及び著作権のご配慮をお願いいたします。(2480×1748ピクセル・413万画素以上)



RID2600 Web Portal



月信 1月号 電子ブック版

国際ロータリー第2600地区事務所 松本市中央1-23-1 松本商工会館4F

白鳥敬日湖ガバナークラブ事務所(佐久コスモSRC内) 佐久市中込3-19-6 佐久グランドホテル内